



ツボを押さえて読むほどハマる!

はだし 文化新聞

ふむふむ

No.2 2015 6/5

2015年6月5日発行(1月・6月・10月発行) 通巻第2号
発行/NPO法人日本ビーチ文化振興協会
編集人/朝日健太郎
〒104-0033 東京都中央区新川1-1-7 リバーサイド茅場町3階
電話 03-3552-1171
編集スタッフ/吉田亜衣 (BeachvolleyballStyle)
デザイン/島内泰弘デザイン室

INDEX

- 1面 特別対談: 浅尾美和×朝日健太郎
「家族の絆につながるビーチで子育て」
- 2-3面 特集: ビーチスポーツの魅力を発信
新連載: New Sports Power
新連載: Beach Athlete Interview
連載: 朝日健太郎が目利きする砂ソムリエ
連載: おらが街のビーチ自慢
- 4面 特集: 「元気な鹿嶋はビーチから」
さらなる地域活性化に向けて。
連載: 健's BAR ~ビーチの出会いに乾杯~
連載: ビーチ文化のはじまり
編集後記: はだしの足跡

特別対談 浅尾美和

(元プロビーチバレーボール選手)

×朝日健太郎

(NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長)

『ビーチの妖精』として脚光を浴びた浅尾美和さんが
出産を経て、ビーチに戻ってきた。

ODAIBAビーチスポーツフェスティバルで
ナビゲーターを務める浅尾さんと朝日健太郎
理事長(NPO法人日本ビーチ文化振興協会)は
ともにビーチで戦った仲間、引退した今は
父、母としての顔を覗かせる。
二人が考える『はだしで子育て』、
その必要性とは――。

朝日 昨年のイベント以来、一
年ぶりだね。ついにママになった
んだ!

浅尾 先輩パパさんとしていろ
いろ教えてください! まさか、
赤ちゃんと一緒に大好きなビー
チに戻って来られるなんて夢み
たいです。昨年、ビーチスポー
ツフェスティバルに参加したとき
は、いろいろなビーチスポーツが
あることを知ってどれに挑戦し
ようかな、と自分目線で楽しみ
ましたけど、今年は見方が変わ
りました。うちの子も早く大き
くなってビーチで遊んでもらい
たいな、とワクワクしました。

朝日 すっかりママ目線だね
(笑)。浅尾さんは生後4カ月
で赤ちゃんを連れてきたけど、
やっぱりそれはビーチでの過ご
し方を知っているから。知らない
人は日差しや熱中症を懸念す
るけれど、季節によって負担の加
減は違うし、そこを把握してい
れば小さなお子さんでも問題な

く過ごせるよね。

浅尾 私の小さい頃は海で楽し
むといったら海水浴しかなかっ
たのですが、ビーチスポーツフェ
スティバルはいろんなスポーツ
ができるし、疲れたら海辺の図
書館で休めるし、いろんな選択
肢があります。お子さんがビー
チバレーボール教室に参加して
楽しむ姿を見て親御さんも笑
顔で見守ってくれました。子供
も楽しいと親も楽しい。絶対い
い思い出になっていると思いま
す。

朝日 子供たちは日常生活の中
でそうそうハダシになることも
ないから、この機会にハダシで遊

ぶ楽し
さを知って
もらいたいね。

浅尾 お台場ビーチ
ではゴミバスターをやりました
が、よく探さないと見つからな
いくらいゴミはありませんでし
た。子供たちが遊んでも安全だ
し、そういうのって実際遊ばない
とわからないですよ。

朝日 一見、人が集まるとゴミ
が出て汚れるイメージだけど、
人が多いからこそ、きれいにして

みんなを迎え
入れようという好循環
環が生まれる。そういう
意味でもビーチは子育てに向い
ているよね。

浅尾 ビーチは日陰を探すのが
大変なので今回のイベントで設
置されていたパーゴラはよかつ
たですね。

朝日 そういうくつろげる場所
があったり、音楽などエンター
テイメントを楽しむ場があつて
もいいね。今回のフェスティバ



浅尾美和

Miwa Asao

子育てする
ママさんたちに
楽しさを
伝えていきたい



竹を活用したパーゴラ(日除け)。
海辺図書館に設置しスローライフを演出した

ルは、体を動かして汗をかくだ
けではなく、スポーツを起点に
してスポーツ外の層の人たちが
ビーチとふれあうというのが目
的としてあった。

浅尾 ビーチバレーボール教室
に参加した方が「砂がふかふか

で気持ちいい」と言っていました。
自分が体験すると危なくない
というのがわかるし、子供にも
勧めてみようと思います。この
際、服が汚れるとか気にしない
で遊んでほしい。私なんて汗ば
んだまま、ビーチで授乳しまし
た(笑)。

朝日 ビーチで過ごす心地よさを
を親が知って、それを子供に伝
えて、さらにまた次の世代に伝
えていくというのが理想だね。
子供の育成環境が多様化して
いる今だからこそ、もう一度原
点に戻ることが必要だと思いま
す。街中にいるよりも、ビーチ
でハダシになって自然にふれ合
うほうがずっとずっと五感が研
ぎ澄まされるんじゃないかな。

浅尾 ハダシで砂の上を歩くた
けで、足裏の刺激になりますか
らね。

朝日 科学的にも足の裏を刺激
すると成長ホルモンの分泌が促
進されるというデータもあるか
ら、子供は発育にいいし、大人は
アンチエイジングにつながる。健
康的なホルモンがどんどん出て
くる。

浅尾 体にいいものは昔から
変わらない。時代は繰り返して
いるんですね。今回のビーチス
ポーツフェスティバルのようなイ
ベントを日本全国いろいろなと
ころでできたらいいですね。ま
だまだビーチでの楽しみ方を知
らない人が多いと思うので、私
は子育てするママさんたちにこ
の楽しさを伝えていきたいです。

朝日 スポーツ観戦にしても、
なかなか家族連れで観に行くス
ポーツは少ないよね。けれど、
ビーチスポーツは子供も親も
みんなで楽しめるフィールド。
ビーチという入り口を通じて、
家族の絆がより強くなっていく
ことを願っています。

朝日健太郎

Kentaro Asahi

ビーチスポーツは
子供も親も
みんなで楽しめる
フィールド

家族の絆につながる

ビーチで 子育て

New Sports Power ①
(ビーチで生まれた新競技)

文/小崎仁久

ビーチベースボール Beach Baseball

娯楽性を第一に考えた誰もが楽しめる野球



上:打者は自らトスをし、バッティングを行う
下:ビーチ競技にふさわしく肉体的な披露をする



ビーチベースボールは出来たてはやの入門型スポーツだ。野球を砂浜で行うだけではない。バットの代わりにビーチテニス用のラケット(羽子板状のラケット)とベースボールを使用する。ピッチャーは自らトスをし、バッティングを行う。野球の醍醐味であるバッティングを誰か簡単に味わえる新しいスポーツだ。「目的は野球を世界に広めること。野球をやったことがない人に野球をやってもらいたい」と話すのは、競技を考案した世界ビーチベースボール協会の塩見直樹だ。

直樹代表は、野球が普及してない欧州、特にイタリア、フランスへの競技を広めた。3年後には「美筋ジャパン」で乗り込んだ。他のビーチスポーツにも通ずる娯楽性を第一優先に、プレーする敷居を極力低くしたビーチベースボールにかかっただけでも見ている、笑みがこぼれる新しい野球だ。



「越後三大花火」の一つ、「ぎおん柏崎まつり 海の大花火大会」



柏崎鯛茶漬

柏崎の名産物と云えばこれ! かつて釜揚げの鯛が産地であり、名物として広めてきた。柏崎鯛茶漬は、プリプリの歯ごたえがある鯛の旨みとシシロの甘味が絶妙に絡み合い、さっぱりとした口当たりが特徴。全国で人気な柏崎手巻も、鯛かき揚げを取り、うなぎや当地方産品として定着した。柏崎鯛茶漬は、様々な用途で楽しむことができます。

小 中学校時代は野球、高校時代はテニスをやっていたので、それまで海でスポーツする機会はありませんでした。高校卒業をしてすぐ、ビーチテニスを初めて体験したときは、単純に砂浜の上でドライブしたり、海でスポーツすることが楽しいと思いました。

2009年イタリアで開催された世界選手権を見に行き、衝撃を受けました。日本とはレベルがぜんぜん違うし、別物だと。自分も高いレベルでプレーしたいと思い、必死でお金を貯めてその翌年、単身でイタリアへ修行に行きました。

僕が始めた2008年頃に比べると、近年はプレーできる場所も増えてきました。ビーチテニスの魅力は、誰でも簡単に気軽にプレーできること。ハイレベルになると、ミスがなくスピードのあるラリーが続くので、見ている面白いです。現在は4つのグレードに分かれている世界大会の上から2番目の大会で、アジア人として初めて優勝することができました。現在世界ランキング28位なので、今は世界のトップ10以内に入るのが目標です。

上:各地で体験会を行い、普及活動に余念がない
下:ネットの高さは1.7m、コートは8m×16mで行うビーチテニス



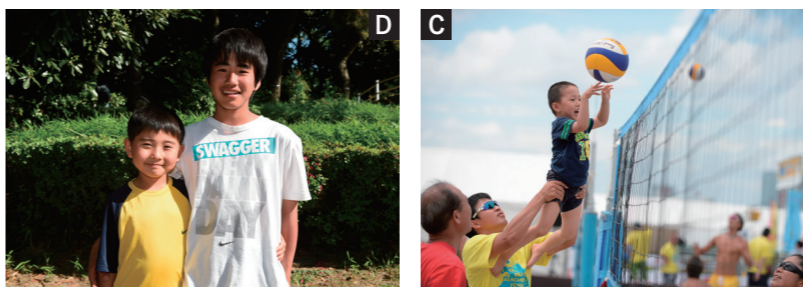
Beach Athlete Interview ① (ビーチアスリートを追え)

山本直晃

(ビーチテニス)

PROFILE
Club Masa所属。1990年1月12日、神奈川県鎌倉市出身。2010年から4年間、日本ランキング1位の座を守り続け、「ビーチテニス界の顔」として世界に挑戦し続ける。神奈川県藤沢市鶴沼海岸を中心に活動中。

発展途上ということもあり、大会のときは選手自身が設備の手伝いをすることもあります。裏方のお仕事は勉強になりませんが、選手としては競技に集中したいという気持ちがあります。今後は自分のプレーを見ても、面白いビーチテニスの面白さが伝わっていくと、少しずつ環境がよくなっていくようにがんばっていきたくと思っています。



写真/横山健太

ビーチテニススポーツの魅力を発信

ビーチゲームズ日本招致推進プロジェクト
ODAIBAビーチスポーツフェスティバル2015
目指せ!! クリーンUPお台場海開き

ビーチテニス、マリンスポーツの体験会が行われた。主催したNPO法人日本ビーチ文化振興協会の朝日健太郎理事長は、「やってみると、楽しいのんびりして楽しいな」と楽しんでいる様子を見せながら、ビーチテニスにはさまざまな楽しみ方がある。このイベントをきっかけにたくさんの方々に楽しんでもらいたい。ビーチテニス(※)の招致につながることを期待している。ビーチテニスやマリンスポーツなど新しいビーチ競技も導入された。プレスコボールは、板のラ

ケットでボールを打ち合い、ラリーを繰り返す競技。国内定着を目指す日本プレスコボール協会広報の澤永遼氏は、「ビーチテニスに求められるのはアクティブな方が多いので、新しいものに対する好奇心が強く、体験を楽しんでほしい」と振り返った。また、ビーチテニス、ビーチ相撲、チアダンス、スタンドアップ、マリンスポーツなど、親子連れで体験する姿も多く見られた。ゴルフテニスは毎年お台場に遊びにきているという中学2年の村田悠将君は、「砂が柔らかいので思いっきり楽しめる。毎年いろいろなものに挑戦しているけど、一番好きなのはビーチテニスです」と笑顔で話してくれた。また、今回は東日本大震災の爪痕が残る福島県いわき市からバスをチャーターし、やってきました親子連れを招待した。普段は思うように遊べない子供たちの元氣にはしゃぐ姿がビーチをより一層賑やかにしている。



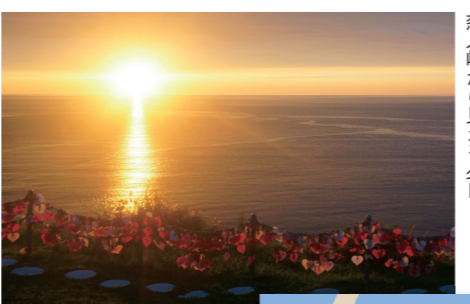
Odaiba Beach Sports Festival 2015



A. 迫力ある砂上の戦い、ビーチフラッグス B. 太陽の日差しをビーチで浴びながら行うビーチフィットネス C. 浅尾美和さんにも参加したビーチバレーボール体験会 D. 兄弟で体験会に参加した村田悠将君、輝君 E. 簡単なルールで楽しめるビーチ相撲体験会 F. フラジールで人気のスポーツ、プレスコボール G. いわき市から親子連れでイベントに参加したH. 救命活動を発展させた競技、ライフセービング

※ビーチゲームズ……ビーチスポーツとマリンスポーツのオリンピックといえるスポーツの祭典。アジアビーチゲームズは2年に一度開催されている。2018年以降、日本での開催を目指している。

おらが街のビーチ自慢



恋人岬から見える夕日
安全で美しいビーチが広がる
日本海に面した新潟県の海岸線は、ほぼ中央に位置する柏崎市は、15カ所の海水浴場が連なり、県民が最も足を運ぶビーチがある街として知られています。「日本の渚百選」に選定された鯉波海水浴場をはじめ、環境省が定める「快水浴場100選」に選ばれた香神、西神海水浴場は、水質の評価が高く、およそ42kmの海岸線に美しいビーチが広がっています。9カ所の海水浴場では、地元ライフセーバーが常駐しているため、安心して楽しむことができます。

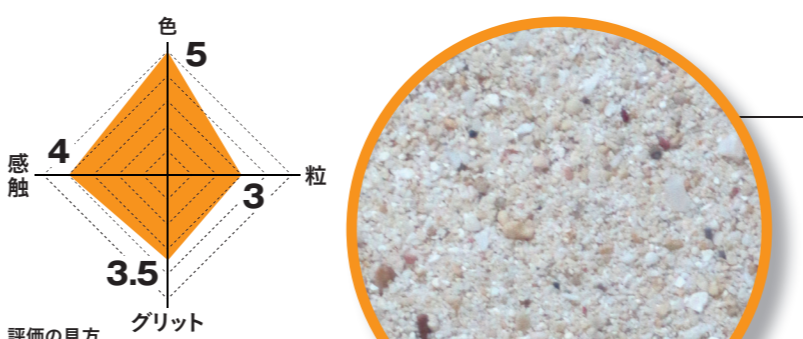
新潟県・柏崎市

も人気の一つに選ばれます。安全で美しい海を満喫しようとして、柏崎市ではビーチスポーツ、マリンスポーツが盛んに行われています。なかでも市内には小学生から社会人まで多くの水球チームが存在し、世界に羽ばたく有力選手を輩出しています。そんな柏崎市の名産は、日本海沿岸で漁獲量トップクラスを誇る鯛。柏崎では天然物の鯛を筆頭に、水面下の岩場から水揚げされたみずみずしい海産物を堪能することができます。

日本・沖縄県宮古島市

与那覇前浜ビーチ

元プロビーチバレーボールプレーヤー・朝日健太郎が各地の砂を踏んで触ってビーチスポーツにふさわしい砂を選ぶ「砂ソムリエ」は、足跡の数を評価する。足跡3つが最高の、さて連続第2回で取り上げるのは、東洋美しいと言われている沖縄県宮古島市の与那覇前浜ビーチの砂。
サンゴの成分から生まれた沖縄特有の真っ白な砂。パウダーサウンドと呼ばれるしっとりとした感触は、まさに「気持ちいい」と一言である。スポーツ利用の側面でも、若干の滑りや癖はある。与那覇前浜ビーチの強みはなんといっても、エメラルドグリーン色の海をバックとした景観によって引き出される総合点の高さだろう。必ずまた、踏みしめたくなる砂である。



総合評価
〈はだし〉2つ半!!



『鹿嶋市の海岸への思い』を発表する錦織市長

〈基調講演〉
『元気なビーチとは。～各地のビーチ活性化の歩み～』
講師・朝日健太郎氏
(NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長)

〈意見発表〉
『鹿嶋市の海岸への思い』
鹿嶋市長・錦織孝一

〈功労者表彰式〉
功労者表彰(スポーツ関係)

〈パネルディスカッション〉
『鹿嶋の魅力を活かしたこれからの海岸活用』

●コーディネーター
朝日健太郎

●パネリスト
・真田仁(国土交通省港湾局海岸・防災課長)
・飯沼誠司(ライフセイバー)
・岡見正仁(鹿嶋当地アドルプロジェクト代表、オカミ書店三代目、FMかしまパーソナリティ)
・原弘(NPO法人鹿嶋市体育協会会長)
・瀬川美枝子(日本こどもフィットネス協会公認インストラクター)
・錦織孝一(鹿嶋市長)

元気な鹿嶋は ビーチから

さらなる
地域活性化に向けて。

パネルディスカッションでは、防災、スポーツ、子育て、エンターテインメント等、地元で活動する有識者がそれぞれの視点で活発に意見交換を行った。錦織孝一市長は、「貴重な意見を参考にし、素晴らしい資源である海辺を通常活用することで、さらなる地域活性化が期待できる」と話した。



地元で活躍する有識者がそろったパネルディスカッション



基調講演とパネルディスカッションのコーディネーターを務めた朝日氏

海 辺の活用について意見交換するシンポジウム「元気な鹿嶋はビーチから」が3月8日(日)、茨城県鹿嶋市・大野ふれあいセンターで開かれた。

鹿嶋市は全長16kmの海岸線が広がり、鹿島神宮や鹿島港、スポーツでは鹿島アントラーズの拠点地であり、歴史を親しむ高齢者とスポーツに沸く若者が融合した街として知られる。基調講演では、NPO法人日本ビーチ文化振興協会の朝日健太郎理事長が、ビーチバレーボール選手時代に自身が目にしてきた世界のビーチ、活用事例について講演した。

ビーチの出会いに乾杯

健's BAR

はだし文化推進啓発事業

日本ビーチ文化振興協会が多くのの方にビーチの良さを知っていただくために、理事長の朝日健太郎がBARのマスターに变身。毎回、特別ゲストを迎えながら、ご来店いただいたお客様と熱いディスカッションを繰り広げる会です。第11回は健康体操マイペース主宰の林真理子さんをお招きし、自宅や職場などどこでもできる健康体操を実践！心も体もリラックスしながら、参加者全員で気持ちよく体をほぐしました。「当協会の活動がスタートした頃から、ビーチヨガで健康づくりを啓発されている林先生。今回のレッスンを受けて、林先生並びに先生の生徒さんたちが美しさを維持している秘訣がよくわかりました！」(マスター)。ビーチに関わるすべての人たちをつなぐ健's BAR。かけがえのない出会いがあなたをお出迎えます！

第13回 健's BAR

日時 平成27年9月15日(火)
ドアオープン/18:30 スタート/19:00
(トークショー、懇親、フルーツバスケット、ジャンケン大会)

会費 初回 4,000円(年間パートナー費2000円+飲食代)
2回目から3,500円(飲み放題+軽食付き)

会場 プロント 茅場町店
(東京都中央区日本橋茅場町1-11-2F フジビル16)

2015イベントスケジュール

- 6月20日(土) 第2回サンセットビーチラン in 京丹後(京都府京丹後市・夕日ヶ浦海岸)
- 7月4日(土)~5日(日) Vリーグサマーフェスティバル in ODAIBA BEACH(東京都港区・お台場海浜公園)
- 7月18日(土)~19日(日) ビーチスポーツフェスティバル in 京丹後(京都府京丹後市・夕日ヶ浦海岸)
- 7月26日(日) 第9回ビーチライフ in 新潟(新潟県新潟市・日和山浜海岸)
- 8月22日(土) [予定] 別府ポर्टフェスタ 2015(大分県別府市・餅ヶ浜里浜ビーチ)
- 9月27日(日) [予定] ビーチライフふれあいフェスティバル in 阿字ヶ浦 2015(茨城県ひたちなか市・阿字ヶ浦海岸)
- 11月7日(土) 鯨カップジュニアビーチバレーボール大会 2015(高知県黒潮町・上川口港公園)
- 11月22日(日) [予定] 貝塚二色の浜ビーチラン2015(大阪府貝塚市・二色の浜)

東京府中央区新川1-1-7
リバーサイド茅場町3階
NPO法人日本ビーチ文化振興協会
「はだし文化新聞」お便り係
メール: info@jbeach.jp
ファックス: 03-6552-1220

ビーチ文化の vol.2 はじまり

大村哲夫 Tetsuo Omura
NPO法人日本ビーチ文化振興協会会長

進化

2002年、海辺の活用方法を唱えて日本ビーチ文化振興協会を立ち上げましたが、12年前はすぐには受け入れてもらえませんでした。例えば、東京・お台場。立地もよく施設環境も優れていますが、当初は規制が厳しく海辺の使い方の理解がなかなか得られませんでした。そこで、海辺の活用方法を広く打ち出すために企画したのが、『ビーチライフ』です。ビーチスポーツを始め、いろ

いろなビーチの楽しみ方を提唱するこのイベントを通じて2003年以降、全国各地でビーチライフを開催してきました。とくに好評だったのが、ビーチサンダル飛ばしやビーチ相撲。そこには難しいルールは必要ない。単純にお子さんが無邪気になつてビーチで遊ぶことができるんです。ビーチライフを通じて、ビーチの入り口となるようなコンテンツを開発してきました。当初は、海辺の活用法に理解がなかった方々も、イベントが2回、3回と回数を重ねるようになると「来年はいつ開催するんですか?」など地域の反応も変わってきました。お子さんが喜んで、親御さんもうれしいのです。こうしてビーチライフが地域に浸透していくとともに、日本のビーチ文化も少しずつ進化を遂げていきました(最終回に続く)。

今回の目玉は、2回目を迎えた ODAIBA ビーチスポーツフェスティバルです。ビーチでの関わり方を最大限表現したイベントで、言うなればビーチ活用の見本市といったところでしょうか。開催した3日間、一度も雨に見舞われず多くの方々に来場頂きました。特に印象に残ったのが、福島県いわき市からバスをチャーターし、大勢のご家族でご来場頂いたことです。その中で子供たちがはだしになって、お台場ビーチでたくさん笑顔に包まれた瞬間が最高でした。これからも、全国ではだしになれる場面をたくさん提供していきたいと思えます。

Beach Sports Festival

砂浜でリラックス! のんびり楽しもう!

BEACH LIFE EVENT

7月18日(土)
13:00~17:00

ビーチライフイベント

- 海辺図書館
- 浜辺で宝探し
- ビーチバレーボール

朝日健太郎スクール

京丹後のビーチで思いっきり遊ぼう!

BEACH SPORTS EVENT

7月19日(日)
9:00~16:00

ビーチスポーツイベント

- ビーチバレーボール
- ビーチフラッグス
- ビーチ相撲
- ビーチサン飛ばし
- 海辺図書館ほか

in 京丹後
会場: 浜詰・夕日ヶ浦海岸

Sunset Beach Run

in 京丹後

京丹後の美しい浜辺を走ろう!

6月20日(土)

会場: 京都府京丹後市夕日ヶ浦海岸スタート&ゴール
受付: 13:00 開会式: 15:00 (予定)
定員: 500名 (10km 200名、5km 150名、キッズ2km 50名、親子2km 50組)

大会についての詳細は
<http://www.jbeach.jp>

文化新聞 はだし

広告協賛社 募集

料金のお問い合わせは、
電話 03-3552-1171